

第2期広川町まち・ひと・しごと総合戦略（第2版） 修正箇所一覧（R3.3）

ページ		修正前	修正後	修正理由
旧	新			
22	22	<p>【【基本目標④】時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守ることができる魅力的な地域をつくる】の本文</p> <p>また、未来の産業拠点創出を見据え、新たな国道バイパス建設構想の進捗に合わせて、広川インター周辺の開発の検討や新たな工業団地、道の駅の整備等も検討していきます。</p>	<p>【【基本目標④】時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守ることができる魅力的な地域をつくる】の本文</p> <p>また、未来の産業拠点創出を見据え、新たな国道バイパス建設構想の進捗に合わせて、広川インター周辺の開発の検討や新たな産業団地、道の駅の整備等も検討していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 工業団地に限らず、幅広い産業の可能性を探るため。
23	23	<p>【基本目標① 地域資源の可能性を広げて、安心して働けるようにする】</p> <p>②地域企業の可能性を広げる —◆広川インター周辺開発事業</p>	<p>【基本目標① 地域資源の可能性を広げて、安心して働けるようにする】</p> <p>②地域企業の可能性を広げる —◆新産業用地整備推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道3号バイパスの進捗状況を見ながらも、新産業用地の整備推進を強化するため。
24	24	<p>【「②地域企業の可能性を広げる」】</p> <p>高卒就職希望者は、自宅から通勤できる範囲内で、安心して働くことができる場所を求めていることから、地場の企業の取り組みを支援することで雇用拡大を目指します。</p> <p>また、雇用枠を拡大するためにも、広川インター周辺開発についても引き続き検討し、新たな企業誘致による雇用の場の創出を模索していきます。</p> <p>◆広川インター周辺開発事業（産業振興課）</p>	<p>【②地域企業の可能性を広げる】</p> <p>高卒就職希望者は、自宅から通勤できる範囲内で、安心して働くことができる場所を求めていることから、地場の企業の取り組みを支援することで雇用拡大を目指します。</p> <p>また、雇用枠を拡大するためにも、<u>広川インター周辺を含め、新しい産業用地の整備についても引き続き検討し、新たな企業誘致による雇用の場の創出を模索していきます。</u></p> <p>◆<u>新産業用地整備推進事業（産業振興課）</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道3号バイパスの進捗状況を見ながらも、新産業用地の整備推進を強化するため。

		<ul style="list-style-type: none"> ・商工団地整備のための開発の検討 ・企業誘致に向けた可能性の検討 等 <p>重要業績評価指標 (KPI) 事業が具体化する段階で設定 現状値 - 目標値 (R 7) -</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商工団地整備のための開発の検討 ・企業誘致に向けた可能性の検討 等 <p>重要業績評価指標 (KPI) <u>開発行為の許可取得箇所</u> 現状値 - 目標値 (R 7) <u>1か所以上</u></p>	
28	28	<p>【◆移住定住促進事業 (政策調整課) の内容】</p> <p>○広川町移住定住促進センター兼滞在交流施設 Orige を拠点として、移住希望者へ必要な情報を提供するとともに、実際に広川町での暮らしを体験する機会を設ける「お試し居住」制度を推進しつつ、移住後の受け皿となる空き家の利活用の促進にも努めます。 ・空き家情報の収集と情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産事業者との連携した空き家利活用アドバイザーの派遣 ・お試し居住の受け入れ ・福岡県と共同での地方創生移住支援事業、筑後田園都市推進協議会定住部会等と連携した移住定住フェアへのブース出展、ふくおかよかこ移住相談センターとの連携 等 	<p>【◆移住定住促進事業 (政策調整課) の内容】</p> <p>○広川町移住定住促進センター兼滞在交流施設 Orige を拠点として、移住希望者へ必要な情報を提供するとともに、実際に広川町での暮らしを体験する機会を設ける「お試し居住」制度を推進しつつ、移住後の受け皿となる空き家の利活用の促進にも努めます。<u>また、新型コロナウイルス感染症の影響により今後拡大及び定着が見込まれるテレワークやオンライン授業など、新しい働き方や学び方にも対応できる環境の整備など、多様なライフスタイルの受け皿となる地域づくりに努めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報の収集と情報提供 ・不動産事業者との連携した空き家利活用アドバイザーの派遣 ・お試し居住の受け入れ ・福岡県と共同での地方創生移住支援事業、筑後田園都市推進協議会定住部会等と連携した移住定住フェアへのブース出展、ふくおかよかこ移住相談センターとの連携 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度実施の「新型コロナウイルス感染症に負けない広川町まちづくりアンケート」の結果、テレワークについては、少ないながらも経験した住民が確認され、今後も拡大すると思われることから、今後の検討課題として認識する必要があるため。 ● 福岡県広域地域振興課が事務局として筑後田園都市推進協議会内に設置されていた定住部会が令和2年度で終了するため。

30	30	<p>【「②個性を伸ばす教育環境をつくる」の事業内容】</p> <p>◆きめ細やかな教育環境整備事業（教育委員会）</p> <p>○きめ細やかな教育環境の充実を図るため、小学校において 35 人学級とすることにより、今まで以上に目配り気配りの行き届いた教育環境を整備し、学力の向上や学校生活における教師と児童生徒とのコミュニケーションの向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の 35 人学級の実施 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援介助員の配置 等 	<p>【「②個性を伸ばす教育環境をつくる」の事業内容】</p> <p>◆きめ細やかな教育環境整備事業（教育委員会）</p> <p>○きめ細やかな教育環境の充実を図るため、小学校において 35 人学級とすることにより、今まで以上に目配り気配りの行き届いた教育環境を整備し、学力の向上や学校生活における教師と児童生徒とのコミュニケーションの向上を図ります。<u>また、児童生徒に 1 台ずつ配備した学習用タブレット等の ICT を活用して GIGA スクール構想の実現に取り組み、新しい生活様式にも対応できる環境の整備に努めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の 35 人学級の実施 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援介助員の配置 ・<u>ICT 支援員の設置</u> 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響により急速に進んだ GIGA スクール構想に基づく ICT 教育に関することを追加したため。
31	31	<p>【時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守ることができる魅力的な地域をつくる】</p> <p>①モビリティ（動きやすさ）を高める</p> <p>◆国道 3 号バイパス及び道の駅・工業団地整備構想推進事業</p>	<p>【時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守ることができる魅力的な地域をつくる】</p> <p>①モビリティ（動きやすさ）を高める</p> <p>◆<u>国道 3 号バイパス及び道の駅等整備構想推進事業</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道 3 号バイパスの進捗状況を見ながらも、新産業用地の整備推進を強化するため。

31 ～ 32	31 ～ 32	<p>【「①モビリティ（動きやすさ）を高める」の事業内容】</p> <p>◆都市部とのアクセス向上事業（協働推進課、政策調整課）</p> <p>○パークアンドライド駐車場及び高速バス停周辺の環境整備により、広川サービスエリアや高速バス停利用者の利便性を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利便性向上のための社会実験の検討 ・広川インター周辺の整備とあわせた高速バス停へのアクセスの向上の検討 等 <p>重要業績評価指標（KPI） 高速バス利用者数（日平均） 現状値 50人 目標値（R7） 70人</p>	<p>【「①モビリティ（動きやすさ）を高める」の事業内容】</p> <p>◆都市部とのアクセス向上事業（協働推進課、政策調整課）</p> <p>○パークアンドライド駐車場及び高速バス停周辺の環境整備により、広川サービスエリアや高速バス停利用者の利便性を高めます。また、<u>新型コロナウイルス感染症の影響による働き方、学び方の変化、公共交通の利用に対する意識の変化等を的確に捉え、ニーズに沿った広域移動と感染防止との両立についても検討していきます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利便性向上のための社会実験の検討 ・広川インター周辺の整備とあわせた高速バス停へのアクセスの向上の検討 等 <p>重要業績評価指標（KPI） 高速バス利用者数（日平均） 現状値 50人 目標値（R7） <u>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和3年度中に設定</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用を避ける人が増えたほか、テレワークやオンライン授業など、人の移動自体が減少したことにより、広域モビリティのあり方についても大きく見直しを迫られているため。
32	32	<p>◆国道3号バイパス及び道の駅・工業団地整備構想推進事業（建設課、産業振興課、政策調整課）</p> <p>○国道3号の慢性的な渋滞解消に向けたバイパス化構想の進捗を視野に入れた道の駅、工業団地の設置を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道3号バイパスの構想の推進 	<p>◆<u>国道3号バイパス及び道の駅等整備構想推進事業（建設課、産業振興課、政策調整課）</u></p> <p><u>国道3号バイパスの実現に向けた取り組みを、町としても後押ししていきます。その新しい道路がもたらす人、物の流れを十分に活かすため、道の駅の整備を含めた集客販売施設のほ</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道3号バイパスが実現した後の地域社会を展望し、道の駅や産業用地に限らず、さまざまな可能性を探り、上広川地域や広川町の新しいまちづくりについて検討していくこととしたため。

	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅整備構想の策定と整備の推進 ・国道3号バイパス周辺での工業団地の開発検討 等 	<p><u>か、雇用を創出するための産業用地や農業を活かすための土地利用を検討するなど、商工業と農業が連動し、上広川地域の新たな顔となるようなまちづくりを検討していきます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>国道3号バイパス構想の推進</u> ・<u>国道3号バイパス周辺での道の駅等整備の検討 等</u> 	
--	---	---	--